

Takataka Global Science(米国研修)

1 目的

多彩な国際交流プログラムを通じて、言語の背景にある文化や歴史を学び外見することで、視野の広い真の国際人になる素養を養う。また、世界の最先端研究に触れ、科学を活用した考え方をさらに発展させる。

2 概要

2月	募集説明会
4月	オリエンテーション1 語学研修準備自己アピール オリエンテーション2 研修全体のQ&A、ケーススタディ
5月	オリエンテーション3 ボストン地下鉄の乗り方
6月	渡航直前説明会
7月	米国研修
2月	活動報告会

毎年実施している本校のアメリカ研修は、アメリカのボストン・オーランド方面で活動を行っている。今年度はマイクロソフト社のトラブルのため、オーランド方面での活動は実施できなかったが、現地の人や他国からの高校生と交流し日本では得られない学びをすることができた。

7月13日に日本を飛び立ちボストンへ向かった。ボストンに到着後は、タフツ大学の学生寮に宿泊した。寮では、イタリア人や中国人など、他国から参加してきている高校生とともに生活をした。食事はタフツ大学構内の食堂でとり、生徒は現地の大学生や他国からきた高校生と積極的に交流することができた。生徒は自らすすんで英語を使ってコミュニケーションをとり、外国人と友達になるものもいた。タフツ大学に滞在している間はEmbassyによる語学研修に参加した。プレイスメントテストを受け、習熟度に応じたクラスで学習を行った。授業では、ディスカッションやプレゼンテーションのような英語を使用した授業や、アメリカの歴史や文化を学ぶ講義も行わ

れた。



授業の様子

午後は市内散策やガイドツアーを行い、ボストンやアメリカの独立の歴史について学んだり、有名大学に訪問したりした。訪問した大学は、ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学（以下、MIT）で、現地のガイドによる説明に加え、MITではガンについての最新研究について講義を受けた。また、MITで研究を行っている日本人ゲストスピーカーを招き、日本に縛られずに海外に目を向けて進路を考える大切さを学んだ。



ゲストスピーカーとMITにて

マイクロソフト社のトラブルによる影響でオーランド方面へのフライトが欠航となったため、急遽ニューヨークに行くこととなった。タイムズスクエアやロックフェラーセンターなどを巡った。ボストンとは違う人々の様子や日本との規模の違いなどに驚き、世界を肌で感じるよい時間となった。